

# 9/15 広報 くじ

2016 (平成 28 年) No.253

## 台風10号 市内各地に爪痕

久慈駅の周辺(岩手県提供/8月31日14時30分撮影)

### 市内の最大観測値など

- 総降水量(8月29～31日)  
278.5mm(下戸鎖)
- 1時間最大降水量(8月30日18時35分)  
80mm(下戸鎖)
- 河川の最高水位(8月30日20時30分)  
5.67m(久慈川・八日町)
- 最大避難者数(8月31日0時30分)  
46避難所 1,225人

### 市内の被害概要

- 人的被害 死者1名
- 建物被害(9月7日現在) 1,987棟  
[内訳]全壊26棟/大規模半壊190棟/  
床上浸水1,183棟/床下浸水588棟
- 被害額(9月5日現在) 66億1,276万円  
[内訳]商工関係30億550万円/土木施設  
(道路)23億9,000万円/水産関係4億8,067  
万円/林業関係3億5,444万円 ほか

8月30日、1951年の統計開始以来、初めて東北太平洋側から上陸した台風10号。この影響で、県内では沿岸部を中心に豪雨に見舞われ、死者16人(9月5日現在)を出す大きな被害を受けました。

市では、30日10時に災害対策本部を設置。大雨・暴風・洪水・高潮の警報に加え、12時37分に土砂災害警戒情報が発表されたことを受け、台風の接近を控えた16時30分に市内全域に避難勧告を発令しました。その後、河川の水位が氾濫危険水位を超過したことから、大川目地区、久慈市街地、長内川流域、湊地区の8千世帯に避難指示を発令

河川の水が堤防を越える越水などにより、川貫から川崎町にかけて市街地の大部分が冠水し、住居や車両などに多数の浸水被害が発生しました。翌31日以降も、土砂崩れや道路の損壊により、国道281号をはじめ、多数の通行止め箇所が発生。断水や停電に加え、山根町・山形町を中心に一時100世帯以上が「孤立状態」となるなど、市民生活にも大きな打撃を与えました。

また、浸水による建物被害は東日本大震災津波による1248件を上回り、調査の進展に伴い、さらに被害が増加するとみられています。

## 「り災証明書」特設窓口を開設します ☎ 税務課 ☎ 52-2114

台風10号により被害を受けた人に「り災証明書」を発行する特設窓口を開設しています。

既に被害認定調査が終了している建物の場合、申請時に証明書を即時発行します。未調査の場合は申請のみを受け付け、調査終了後に証明書を郵送します。

### ■申請できる人

- ▶居住又は所有していた建物が被害を受けた人
- ▶使用していた建物が被害を受けた事業者  
※住民票が久慈市以外の人、または住民票と異なる場所に住んでいる場合には被害を受けた建物に居住していたことを確認できる書類(公共料金の領収書、賃貸住宅の契約書など)が必要です

- 場 所…市役所1階 市民ホール
- 期 間…9月30日(金)まで 8時45分～17時  
※土日祝日は9時～16時まで  
※期間終了後は税務課窓口で受け付けします
- 手数料…無料
- 持ち物…印鑑(本人・同居親族以外が申請する場合は委任状が必要)

被害認定は、建物の外観調査によって判定されます。調査結果に疑問がある場合は再調査を行いますので、税務課までお問い合わせください。